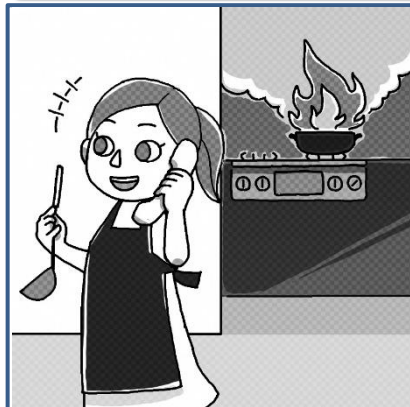


火災が発生しやすくなる季節です！

富士宮市での火災の主な出火原因



こんろ

- 火を使うときはこんろから離れない
- 安全機能付きこんろを使用する
- 着ている服や可燃物への着火により負傷者が発生しています



放 火

- 家のまわりには燃えやすい物を置かない
- 外灯やセンサーライトなどで家のまわりを明るくしていますか
- 物置や車庫にはカギをかけていますか



たき火

- 燃えやすい物の近くでは行わない
- 消火器、水バケツ、スコップなど消火用具を準備する
- 空気が乾燥しているときや風が強いときはたき火をしない
- 焼却が終わるまで監視し、消火、残火処理を行う

🔥 たき火（野焼き）は他法令によって原則禁止されています 🔥

その火事を防ぐあなたに金×タレ

秋の火災予防運動
11月9日(月)～11月15日(日)

富士宮市での火災の主な発生原因は、こんろ、放火、たき火です。そのうち建物火災は毎年高い比率を占めています。全国でも火災による死傷者のうち80%が建物火災によるものです。火事の恐ろしさは、家や財産だけでなく、**生命**まで奪い去ることで。また、ご家庭では火災を早期発見するためにも住宅用火災警報器を設置、維持管理しましょう。

火事はすべてを奪います。ついていきますか？住宅用火災警報器

住宅用火災警報器が全ての住宅で義務化されてから今年で12年目となります。市民の皆様、自宅の住宅用火災警報器の機能確認はされていますか？住宅用火災警報器は、24時間365日皆様の家の安全を火事から守ってくれていますが、機器が古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。もしもの時に作動しないことがないように、10年を目安に交換するようにしましょう。

・住宅用火災警報器とは？

⇒火災により発生する煙や熱を感知し、音や音声により警報を発する機器です。

・効果はあるの？

⇒火災の煙や熱を感知して警報音で知らせてくれるので、逃げ遅れによる死者の発生防止に繋がります。

・取り付け場所は？

⇒主に居間、子供部屋、寝室などの居室及び階段、台所などです。



☆静岡県消防防災航空隊と水難救助訓練を实

富士宮市を流れる富士川は、山形県「最上川」・熊本県「球磨川」と並び、日本三大急流の一つにかぞえられています。富士川は、川幅が広く流れが急であり、水難救助事故が起こりやすく、尊い命を失う痛ましい事故も発生しています。

消防本部では、水難救助事故に備え、毎年富士川での訓練を実施しております。本年は、早期救出及び増水に伴う救出困難な場合を想定し、7月13日に静岡県消防防災航空隊との合同訓練を実施し、空からの救出要領を確認しました。訓練は、「急激に増水した富士川の中州に取り残された要救助者が自力で岸まで帰れなくなった状態」を想定し実施しました。中州に取り残された要救助者2名をヘリコプターで岸まで救出、救急隊に引き継ぐといった内容です。相互の連携を図りながら救助活動に安全・確実かつ迅速に対応するために必要な知識や資器材の取り扱い技術を習熟することができました。万が一に備え、日々訓練を実施しておりますが、市民の皆様は、今一度、川での危険な行為や遊泳は控え、小さなお子様からは目を離さぬようお願いいたします。



消防協力者に感謝状を贈呈しました！

令和2年6月14日(日)、9月7日(月)の両日、消防活動の協力者で火災の軽減及び人命救助に大きく貢献した方々に対し、感謝状の贈呈を行いました。

四條健二様、みほ様夫妻は、令和2年4月19日に近所で発生した建物火災において、みほ様が119番通報を行い、健二様が水道ホースを使用し初期消火を行いました。この迅速かつ的確な行動が被害を大きく軽減しました。

横田鑑治様は、令和2年7月29日、用水路に転落し流されてきた高齢女性を発見すると、躊躇せず自ら増水した用水路に入り、女性を救出、保護しました。この勇気ある行動で尊い命が救われました。

火災の被害の軽減及び人命救助に多大なる貢献をされました3人の消防協力者に対し、深い敬意と感謝を申し上げます。



四條健二様、みほ様



横田鑑治様

《富士宮市消防団 初の快挙》

令和元年9月8日(日)、焼津市焼津新港において第37回静岡県消防操法大会が開催され、富士宮市消防団第3方面隊が小型ポンプ操法の部で見事優勝することができました。本大会での優勝は、富士宮市消防団の歴史において初の快挙であり、富士宮市消防団が静岡県の頂点に立った瞬間でした。この大会は、静岡県内の消防団員の代表が一同に会し、小型ポンプ操法、ポンプ車操法の「消防操法」の技術を競う大会です。小型ポンプ操法は5人一組で可搬ポンプを、ポンプ車操法は6人一組で消防ポンプ自動車を用いて、いずれも消防ホースを延ばし、火点に見立てた的に放水するもので、その「速さ」と「正確性」を競い合う競技となります。大会当日は炎天下の中、各地区の強豪チームに引けをとることなく、日ごろの訓練の成果を遺憾なく発揮し力強く堂々たる操法を披露しました。本大会に出場するにあたり富士宮市消防団は、同年7月に富士宮市で開催された富士支部大会（富士宮市・富士市）において、小型ポンプ操法の部で第3方面隊が優勝、ポンプ車操法の部で第2方面隊が準優勝、訓練札式の部では第6方面隊が優勝と輝かしい結果を収めました。今回の結果は、出場選手、消防団員の御家族をはじめ、訓練指導者、仲間の団員等、富士宮市消防団が一丸となり、仕事や家庭生活上で多忙な中、長期間にわたり厳しい訓練に励んできた努力の賜物です。この経験は、市民の生命・財産を守る地域防災力の強化にも確実に繋がるものであります。今後も引き続き、富士宮市民の安心・安全のため、より一層精進してまいります。



富士宮市に在住または在勤・在学している18歳以上の健康な方なら男女問わず、どなたでも入団できます。消防団活動に興味のある方、地域の仲間との輪を広げたい方からのお問い合わせをお待ちしています。

問い合わせ先：警防救急課 Tel：0544(22)1200 Fax：0544(23)9505



119番通報の経験はありますか？

1. 「火事？救急？」

「火事です。」「救急です。」とはっきりと言いましょ。

例)「〇〇町〇〇交差点で交通事故です。」

2. 「場所」

住所・場所が分からない場合は近くのお店や交差点など目標になるもの、自動車専用道路では上下線どちらか、また路肩に設置されているキロポストを伝えましょ。

3. 「現場の状況」

例)「車2台の交通事故です。けが人は1人です。20歳くらいの男性で頭から血が出ています。車のドアが開かず外に出られないようです。」誰がどのような状況か伝えましょ。

4. 「通報者の氏名」

例)「私は事故を偶然目撃しました。名前は〇〇と言います。」
情報収集のため折り返しお電話をすることがあります。消防が現場に着くまで、すぐ電話に出られるようにしてください。

火事になってしまった。大切な人を救いたい。

1分1秒でも早く消防車、救急車が到着するよう、落ち着いた119番通報をお願いします。

歴史で学ぶ防火の心得

～富士宮市常備消防発足70周年を迎えて～

誇りを守る！



あなたは富士宮市について誇れることをいくつ言えますか？

近年、大河ドラマ等の影響からか歴史は人気を博しており、郷土史への関心も密かなブームとなっています。郷土史を学ぶことは、自分が暮らすまちで生かされている感謝の気持ち、先人たちを尊敬する事、隣人を愛する気持ちを育むと同時に、伝統と文化の背後にある人間の知恵や技に出会い、そこから問題を発見し、考え、そして感動が生まれることにつながります。また、故郷を離れて暮らしている人でも、自分の故郷の事を誇りをもって話せ、心の拠り所になります。まさに郷土愛です。

ここ富士宮市も大変歴史あるまちです。旧石器時代の千居遺跡、縄文時代の大鹿窪遺跡、中世には、葛谷城や大宮城を巡る今川軍、北条軍と武田軍のせめぎ合い、さらに、織田信長が座ったとされる富士見石、近世には、江戸幕府との関わり合いなど富士山と浅間大社を中心に興味深い歴史産物が多くあります。そんな歴史ある誇れるまち富士宮市を守ることは、消防の重要な責務であります。富士宮市消防本部は、11月1日で発足70年という大きな節目の年を迎えました。昭和25年11月1日に署長以下23人1署1車両で発足し、途中、富士宮市芝川町消防組合への組織変更を経て、職員数168人2署4分署34車両の富士宮市消防本部へと成長しました。現在あるこの消防体制は、幾多の各種災害を乗り越え、先人たちが郷土の安全・安心を願い、その都度英知をしぼり、困難を克服して築かれたものです。この先人たちの願いを受け継ぎ、富士宮市の歴史・誇りを守るため、市民の皆様とともに防火に努め、この先の80年、さらには100年を迎えられるとともに、70年間築き上げてきた富士宮市の防火思想が市民の皆様にとっての富士宮市の誇りの1つになることを切に願います。

